

2008/09/13 12:00

◆エンデュランス終了

10:15分の崇城大学のゴールをもって全てのチームのエンデュランス走行が終了し、今回の大会の動的競技が終わりました。

9時台後半から日差しが強まり、路面コンディションが変化する中で、走行順の遅いチームのドライバーたちは巧みに車両を操っていました。

◆集合写真

毎年恒例の集合写真が今年も撮影されました。10:20頃から集合写真撮影のために車両の整列作業が開始され、65チームの車両とメンバーが扇形に並べられると壮観！撮影は11時過ぎに行われ、撮影が終わるとプラクティスエリアに歓声と拍手が響きました。

◆デザインファイナル

11:15から動的競技エリア観戦席前において、東京R&Dの小野社長によるデザイン審査上位5チーム；上智大学、東京大学、京都大学、大阪大学、豊橋技術科学大学の公開審査が行われました。

上智大学は今年新しくウィングを装備した車両を持ち込み、オーソドックスなパッケージを正常進化させた姿勢が、東京大学は独自のパッケージの車両に4WSという難易度の高いデバイスを搭載する積極的な姿勢が、他の3チームについてもそれぞれの工夫と努力がそれぞれ高く評価されていました。



大会会場内、市民イベントコーナーにて、交通安全のデモンストレーションイベントが開催されました。

◆ロールオーバーシミュレーション

シミュレータにセットされた車両が大きく傾き、ロールオーバー時の体勢や脱出方法の実演がありました。

◆エアバッグデモンストレーション

10:00より、実際のハンドルを使用したエアバッグ作動の実演がありました。大きな爆発音と同時に一瞬で大きく膨らむエアバッグに多くの学生が見入っていました。

